



AI時代とは

オックスフォード大学の研究「雇用の未来」が発表され「近い将来AI（人工知能）に奪われる仕事」が話題になったことは記憶に新しいだろう。人間以上に知識を蓄え、正しい判断を下すAIや車の自動運転はかつてフィクションの世界のものだった。しかし、既に車の組み立てや倉庫作業は自動化され、IBMが開発したWatson膨大な知識を蓄えている今、私たちの仕事がいとも簡単にAIに奪われる日がくることは想像に難くない……と始まる面白い記事があったので紹介しよう。（1月31日朝日新聞WEBより）

*

こんな時代に、失業しないためにはなにが必要だろうか？ 日本屈指のイノベーターである成毛眞さん（元日本マイクロソフト社長）に、AI時代になにが必要かを聞いた。

▼「AIに置き換わる職業」はどう決まる？

—AIの発達によって、近い将来多くの職業がなくなるといわれていますが、AIに置き換わりやすい職業の特徴はありますか？

成毛：AIに置き換わってしまう職業の特徴は主に二つ。ひとつは、これまでのデータが大量に残っていたり、インシデントが毎日起こっていて、過去データが残っていてもすぐに蓄積できる職業だね。

AI化には、AIをディープラーニングさせるためのデータが大量に必要なんだ。例えば、タクシーは毎日、何台も何キロも走っているからAI化しやすいけど、フォークリフトのように現場ごとに違った動きをするものはデータが蓄積しづらく、AI化はしづらい。

二つ目は、AI化した時に費用対効果が高い

もの。人工知能をつくるための費用は、どんなものをつくってもあまり変わらない。だから、いまその仕事に従事している人が多い職業ほど制作費がペイしやすい。国会議員を全部AIにした時に置き換えられるのはせいぜい400人位だけど、タクシー運転手なら37万人置き換えられる。

37万人解雇できると、200億円使ったシステムでもすぐにペイできてしまう。だから、まず自動運転が事業化されようとしているんだよ。

▼いま必要なのは「STEAM」の知識・考え方

—AI化した時に費用対効果が高い職業から置き換わっていった後、当然それを管理する人や技術が必要になりますよね。現状よりも理系分野の知識は重要になっていきますか？

成毛：いまの社会でも理系の人たちがつくったものを、誰もが使っている。手元にあるスマホがどういう仕組みで動いているのかも分からずに買うだけ、という人は“ただの”消費者になってしまう。そうならないためには、理系の知識は大事だね。

これからの社会で重要になっていく理系知識を教育用語では「STEM」（S＝サイエンス・T＝テクノロジー・E＝エンジニアリング・M＝マセマティクス）というけど、最近ではこれにArtの「A」が加わって「STEAM」といわれるようになった。

AIに使われる人間ではなく、AIを使い、つくり出す人間でいたいなら、このSTEAMの知識や考え方は絶対に必要だね。（続く）